

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ			公表日	令和8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3		もう少しいいです。 職員体制が足りない時がある。 サブが足りず自己の発生など出ることがあるため →配置基準を満たした職員数ではありませんが、急達の休みが出た場合十分な人数にならないことがあります。職員の配置方法については不測の事態に対応できるよう配慮いたします。職員の募集も引き続き行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		駐車場からレッスン室の道をどうにか通りやすいようにする必要がある(ケガの子など) →滑り止めや照明の設置など対策を行いつつ、傾斜があるため必要に応じて職員のサポートもよろしくをお願いします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		毎レッスン後 モップがけが必要かなと感じる。 →レッスン終了時・開所時に清掃を行っていますが、随時床に落ちているごみは各自拾う自覚が持てるよう指導を徹底していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		おろそかになることが時々あるため、今後はワークなども増やしていければと感じる。 →ワーク(ミニ研修)を適宜開催していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	個々の職員の業務改善については外部のアドバイザーと定期的に面談している。	第三者委員を設置しているが、委員会としての評価は行っていない。 保護者以外で外部評価をしてもらっているかが分からない。 分かりません →現在、既に第三者委員会を設置しております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月所内研修を開いている	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		中々チームでは動いていないと感じる。 →職員間で新たなプログラム(支援内容等)の立案や支援の質向上に向けたワークや研修を実施しやすいよう、体制を含め調整を行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		レジリエンス・スポーツクラブ				公表日	令和8年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		ワークがあまりできていない。 →ワーク(ミニ研修)を適宜開催していきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		必ずではない、できてないときがある →勤務時間のほとんどをサービス提供時間(直接支援)として設定しているため、共有時間の確保と限られた時間で共有できる方法を模索しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		必ずではない、できてないときがある 振り返りをする機会が減っている。意識して取り組む。 →レッスンの終了時間によっては次のレッスンが始まる場合があるので、時間通りにレッスンを開始・終了できるよう心がけます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		人が足りずかけていないときもある →職員の配置方法については不測の事態に対応できるよう配慮いたします。職員の募集も引き続き行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		保育や教育関係と連携できているか分からない。 →管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加して情報共有しています。今後は会議内容の共有をより充分行っていきます。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	1		出ていないと思う。 →送迎を行っていないため、送迎に関する学校との情報共有は行っていません。保護者や担当者会議等を通して学校との連携を積極的に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		分からない →管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加して情報共有しています。今後は会議内容の共有をより充分行っていきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		出ているか分からない →管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加もしくは文書などで情報共有を実施しました。今後は参加した会議や文書の内容についての共有をより充分行っていきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		連携しているが把握できていないため。 →西原町内には児童発達支援センターが設置されていませんが、過去にはレジスポセンターのある浦添市の児童発達支援センターと連携して保護者懇談会を実施しました。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	交流機会も模索している。	他事業所との交流はできていない。 地域の子供と交流する機会があまりない 以前はあったが最近交流がありません。 →サッカースクールやバスケットボール活動では地域のこどもを受け入れており、他チームとの交流機会も設けています。そのほか交流機会を企画調整していきます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ		公表日	令和8年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	西原町自立支援協議会 子ども部会に参加している。	わからない。 出来ていないともう →西原町の自立支援協議会子ども部会へ参加している。今後は参加した内容についての共有をより充分行っていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		ペアトレは実施できていないようですが、保護者懇談会などで意見交換は実施している。情報提供は常に行っていると思う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0		兄弟、保護者同士での交流は増やせるといいのかもしれない →ご家族参加型のイベントを企画しています。今後も継続して企画していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		外部交流が少ないと感じる →今後、地域のスポーツクラブとのスポーツ交流ができるように企画調整していきたいと思えます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	医師の基づくかはわからないが取り組んでいる。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			